総タンパク質定量キット[micro-BCA]　Cat No. KY-2020　取扱説明書

【目的・用途】

低濃度（1～40μg/mL）のタンパク質測定に最適な、BCA 法に基づいたタンパク質定量キットです。界面活性剤の共存が可能です。

【特徴】

- 低濃度タンパク質の測定が可能
- 様々な界面活性剤との共存が可能
- 希釈やろ過などの試薬調製が不要

【キット内容・保存方法】

内容	容量	保管温度	使用期限
A液	100mL	室温	1 年
B 液	100mL	室温	1 年
C液	5mL	室温	1 年

【基本情報】

●定量できるタンパク質濃度の範囲　1～40μg/mL

●サンプルに含まれていても測定に影響がない化学物質の上限濃度

成分		許容上限
酸・塩基	HCl	100mM
	NaOH	100mM
バッファー	Acetate	200mM
	Ammonium sulfate	20%
	Citrate	<1mM
	Glycine	1M
	HEPES	100μM
	Phosphate	250mM
	Tris	100mM
界面活性剤	Octylglucoside	1%
	SDS	1%
	Triton X-100	1%
	Tween20	1%
	Briji 35	1%
	CHAPS	1%
還元剤	Dithiothreitol	<1mM
	2-Mercaptoethanol	<1%
その他	EDTA	10mM
	Glycerol	10%
	KCl	<10mM
	NaCl	1M
	Urea	3M

【本品以外に準備が必要な器具】

- 562nm の吸光度測定が可能な分光光度計
- 分光光度計に適合したキュベット
- 1.5mL チューブ
- ボルテックスミキサー
- 正確なピペット

【プロトコール】

1） スタンダードの調製
測定可能範囲内(0.5～20μg/500μL)で、5 段階程度の 500μL スタンダードタンパク質溶液を作製します。スタンダードは測定サンプルと同じバッファーで希釈するようにしてください。

2） サンプルの調製
サンプルを、スタンダードと同様に 500μL 準備してください。

3） BCA assay solution の調製
A 液:B 液:C 液を 25:25:1 の割合で混合してください(淡い緑色になります)。
1 サンプルにつき 500μL の BCA assay solution が必要です。(※用時調製)

4） 試薬の混合
500μL のスタンダード及びサンプルに対し、500μL の BCA assay solution を加え、ボルテックスしてください。

5） インキュベート
60℃で 15 分間インキュベートします。

6） 冷却
室温で 5～10 分間静置します。

7） 測定
ボルテックスした後、キュベットに溶液を移し、562nm で吸光度を測定します。10 分以内にすべてのサンプルの測定を終了してください。

関連商品

◎ 関連試薬

Code No.	品名	内容
KY-2010	総タンパク質定量キット [macro-BCA]	30～1000μg/mL に対応 1000 回分
KY-2030	総タンパク質定量キット [還元剤適応 BCA]	125～2000μg/mL 対応 約 25 サンプル×10 回分

その他各種プレキャストゲル、高速電気泳動槽等ご用意しております！
詳しくはアプロサイエンス ホームページをご覧ください。
⇒ http://aproscience.com/

【トラブルシューティング】

トラブル	考えられる要因と対策
呈色しない	**サンプルに銅のキレート剤が含まれている。** サンプルを希釈、またはバッファー置換をしてください。
スタンダードやサンプルの呈色が薄い	**強酸、または強アルカリのバッファーを使用している。** サンプルを希釈、またはバッファー置換をしてください。
呈色が濃すぎる	**サンプルに還元剤が含まれている。** サンプルを希釈してください。

株式会社アプロサイエンス
〒771-0360 徳島県鳴門市瀬戸町明神字板屋島124-4
http://aproscience.com/
info@aprosci.com
Tel.088-683-7211 Fax.088-683-7212